

クラス番号	924	担当教員名	槌田 洋
テーマ	フィールドワークと政策作り		
ゼミナール概要			
目的、内容、方法等：ゼミナールでは、市民の暮らしや仕事を支える事業や政策について、グループ研究を中心に、地域での実地調査を含めた検討と提案を考えます。 実地調査を重視する理由は、次の点です。これまで皆さんが学んできたことは、どちらかと言えば高齢者や児童などの対象者別の、福祉や医療の制度を中心とした勉強だったと思います。他方で実践的には、暮らしの現場から福祉の仕組みとあり方を捉え直す事が大変重要です。また、様々な制度の現実の役割や課題を、現場から考えることは、制度そのものの勉強にも大切です。 実地調査を軸にしたゼミ研究を進める上でまず大事なことは、まず何を調査と研究に値する課題として考えるかと言う点です。例えば児童虐待への対策をテーマとする場合には、誰による虐待がどのような事情の下で広がっているのかについて、全国的なデータを含めて検討した上で、予防・救済のための対策の現状と課題を調査し、これを踏まえて関係機関へのヒアリング調査を行うといった一連の作業が必要になります。同時に、こうした学習を通じて、様々な情報を自分自身の視点から捉え直すと言う点での貴重な経験を積むことができます。更に重要なことは、様々な問題の背景や対策を考える上では、生活基盤である地域社会の現状そのものを視野に入れて考える必要があることです。 ゼミの基本的な課題は、具体的な地域社会の調査に基づいて、個々人の生活の質を向上させるために必要な条件や政策をトータルに考えることです。この点では、将来的に市町村などで公務員として働くことを考えている人には、基本的な力を身につけるという意味で、大事な経験になると思います。 授業計画：数名のグループに分かれて、テーマを決めて調査と研究に取り組みます。基本的には、前期と後期とでグループを組み替えて、テーマを設定しなおします。 前期：各グループによるテーマ設定と、実地調査を通じた政策提言の作成 後期： 同上 ポイントは、これまでの中学校や高校で勉強してきた、幅広く知るための学習とはやや違って、問題を発見して解決策を考える学習を進め、考える力を身につけることです。			
担当教員からのメッセージ			
 これからの進路として、とりわけ公務員を志望する学生には、地域の調査や市町村自治体の政策を考えることは、基礎的な力を積む上で、不可欠です。ゼミでは、討論と実態調査を重視し、政策を考える実践的な場とすることを重視します。			